



栗原 美杏

渡部 智佳子

ライフラインの危機に駆けつけ迅速に対応 ガス機器・住宅設備機器のエキスパート

横浜市に拠点を置き、水道やガス周りの設備工事を手がける（株）クリハラ。社長の栗原氏は人々のライフラインを守ることに強い使命感を抱き、顧客第一の姿勢で信頼を獲得している。妻の満里子氏と二人三脚で歩む理想の組織づくりに、女優の大路恵美さんが迫った。

代表取締役

栗原 明【写真中央右】

22歳のときに個人事業主としてユニットバス組み立ての仕事を始める。家族の支えを力に変えて着実に成長し、給排水やガス回りの設備工事にも事業を拡大。2012年には（株）クリハラとして法人化を果たした。

CEO

栗原 満里子【写真中央左】

公私にわたり、夫・明氏を支える存在。（株）クリハラではCEOとして、組織運営をサポートしている。

苦難を力に変えて成長

大路 栗原社長はお若い頃から職人の道を一筋に歩んでこられたそうですね。

栗原（明） 私は、もともと自分で事業を手がけたいという強い気持ちを抱いていました。それで、22歳のときには個人事業主として、ユニットバスの組み立ての仕事を始めたのです。しかし、まだ若く未熟だった私は「起業すれば、人の上に立てる」と甘く考えていました。でも、勤め人以上に人に頭を下げなければいけないことや、現場に出ずっぱりで夜

遅くまで家に帰れないことなどを経験しまして。その中で、想像とのギャップにショックを受け、人知れず涙を流すこともあったのです。加えて、依頼人に騙されて数百万円の被害を受けたことも重なり、一時は本当にどん底を味わいました。大路 その苦境からどのようにして立ち直られたのでしょうか？
栗原（明） 家族の存在が大きかったですね。ある日、落ち込んでいる私を見て、妻が「駄目ならダメでいいじゃん、ゼロになるだけよ」と声をかけてくれて。あえて逃げ道をつくってくれたおかげで、



Company Data

逆に「ここから巻き返してやるんだ」という意欲が湧いてきたのです。

大路 満里子さんのお言葉があって、社長は突き進むことができたんですね。

栗原（満） 当時すでに子どももいましたから、私自身も夫とは違った苦労がありました。けれど、熱い思いを持って挑戦しているのはわかっていたので、側で支えていこうと思ったのです。

栗原（明） それからはユニットバスの組み立てだけでなく、水道やガス周りの設備工事も手がけ、その中で大手ホームセンターからも工事の依頼をいただけるようになりました。そうして徐々に経営が軌道に乗ってきたことから、2012年に法人化した次第です。

栗原（満） 人とのご縁のおかげで今までやってこれました。支えてくださった皆様には心から感謝しています。

万全のアフターフォローで信頼獲得

大路 現在は、どういった依頼に対応しているのですか？

栗原（明） 給湯器やトイレ、レンジフードの設置・交換といった設備工事をメインに手がけています。水道やガスは生きるためのライフライン。責任感を持って丁寧な施工を行うことはもちろん、アフターフォローにも特に力を入れています。仮にトラブルが発生したと連絡をいただいた場合には、即座にお客様のもとへ駆けつける体制を整えているんです。大路 それは頼もしいですね。工事業者の中には、施工が終わればそれっきりになってしまう会社もあります。何かあつ

たときにそうやってすぐに来てくださる方なら、長い付き合いができると思いますし、知人にも紹介しやすそうですね。栗原（明） お客様のお宅にあらせていただく仕事だからこそ、マナーと身だしなみも徹底してしまして。常に笑顔で、清潔感のある格好で現場へ向かうようスタッフたちには伝えています。

栗原（満） どれだけ技術が優れていても、粗暴な印象を与えてしまったらそれだけでお客様は不安になってしまいます。そこで、男性のスタッフだけでは気が付きにくい部分に関しては、私からもアドバイスをしています。

大路 工事をお願いする日中の時間帯は、奥さんが一人で家にいる場合も多いと思いますし、そうした女性目線のケアまでしていただけるのは心強いです。他にも、スタッフさんたちに日頃から伝えていることは何かありますか？

栗原（明） わからないことがあっても、とりあえずやってみよう、ということですね。時代の変化もあるのか、今の若い職人たちは少しでも自分が教わっていない分野が出てくると、不安になって「どうすればいいのですか？」と質問してきます。しかし、こちらからすべてを教えるよりは、自分であれこれと試したほうが学びは大きいはず。そもそも私はスタッフの能力を見極めたくて現場を任せているので、「大丈夫だから、やってみなさい」と言うようにしているんです。そして、スタッフには内緒で現場の近くで待機し、もしものことがあればすぐ助けられるようにしています。

地域から世界へ飛躍する企業に

大路 お客様のことを思う気持ちはもちろん、次世代の育成にも力を入れていらっしゃる社長。生き生きとお仕事に取り組んでいらっしゃる様子が感じ取れます。その源は何でしょうか？

栗原（明） やはり、お客様から感謝していただけることでしょうか。困っている方のところへ駆けつけて、自分の手で問題を解決することによって「ありがとう」と言ってもらえる。「なんていい仕事なんだろう」という気持ちになるんです。お客様の笑顔を見られれば、それだけで力が湧きますね。

栗原（満） 起業して3年目、阪神淡路大震災が起きました。私どもは被災地に入り、仮設住宅にユニットバスを取り付ける仕事をさせていただきました。「自分達の技術で、人々の命や生活をお守りすることができるんだ！」。その経験が支えになり、今でも仕事や意識に生かされています。お客様のライフラインを丁寧に誠実に施工させていただくこと。そこに強い使命感を感じております。

大路 素晴らしい信念をお持ちのようですね。今後の躍進が楽しみです。

栗原（明） ありがとうございます。これからも地域密着の姿勢を大切に着実に歩んでいこうと思います。そうして、いつかは世界中の水回り設備を美しくできる企業へと成長したいですね。

栗原（満） 熱さと若さを持ち続けているところが夫の長所です。私もそれが生きよう、サポートし続けたいですね。

Guest Comment>>

大路 恵美（女優）

「生涯現役で、全力で走り続ける」と力強く語ってくださった栗原社長。裏方として、いろいろなところに気配りをされている満里子さんの存在があるからこそ、前向きに突き進めるのだと思います。芸能界で言うところの理想のタレントとマネージャーの関係を見ているようで、羨ましくなりました。これからもぜひお二人で手を取り合い、理想の組織を育ててください。

